

2012年3月5日

尊敬する藤井市長および姉妹都市取手にお住いの皆様へ

2011年の東日本大震災の1周年が近づいておりますが、ユーバ市当局およびユーバ市民が、取手の皆様の幸福を、今も気にかけていることをお伝えしたく思います。

私たちは損傷した原子力発電所の多くの長期的な影響がまだ残っていることを実感しています。悲劇的な大地震の映像とそれに伴う破壊的な影響が、ユーバ市の人々の記憶に強く残っています。大きな打撃を受けた県が復興するためには、時間と忍耐が必要であることでしょう。

我々は取手の友人たちが強い心を持っていると思います。我々は地震の影響で生活・人生が変わってしまった人々が、この強い心を共有し、明るい将来（楽天的な未来）を見いだせるよう願っています。

どうか、ユーバ市には、あなた方の幸福と繁栄を深く気にかけている生涯の友人がいるということを常に思い出してください。

敬意をもって
ジョン・ミラー
ユーバ市長